
第3次高畠町観光振興計画

～ どこまでも輝き続ける「まほろばの里 たかはた」をめざして ～

平成 22 年 3 月策定

令和 4 年 1 月改訂

山形県高畠町

第3次高畠町観光振興計画にあたって

奥羽の山なみに抱かれた高畠町の美しい自然は、約1万2千年前の縄文草創期から人々が住み続け、それを守り育ててきた私たちの大切な宝物です。私たちは、すべての「いのち」のつながりに支えられ、育まれてきた「まほろばの里」を大切にし、この地域資源を活用しながら、後世に引き継いでいく責任があります。

「まほろばの里」高畠町の魅力を広く伝えていくことで、町民一人ひとりが輝き誇れるまちづくりを進めていきたいと考えています。



このたび、第2次高畠町観光振興計画を引き継ぎ、さらに本町の魅力を創出し、今後5年間の観光振興施策を展開していくための指針となる、第3次高畠町観光振興計画を策定しました。

人口減少及び少子高齢化に歯止めがかからない状況にある上に、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、旅行需要の激減や不要不急の外出自粛による経済活動の縮小など、本町の観光を取り巻く環境は深刻な影響を受け、これまでにない困難な状況に直面しています。一方で、コロナ禍で密集を回避するために、余暇の過ごし方では屋外でのアクティビティに注目が集まっております。「ゆとりある空間」へのニーズの高まりは、豊かな自然や魅力的な地域資源が数多くある本町観光にとっては追い風と考えることができ、このようなニーズを的確に捉えた「高畠町ならではの」観光施策を実施することが必要と考えております。

このような状況を踏まえ、新たな「高畠町観光振興計画」では、「自然」、「歴史」、「体験」など、高畠町がもつ様々な観光資源の魅力を広く訴求し、それらを活用しての着地型旅行商品の開発や受け入れ態勢の整備など、現在の社会の変化や新たなニーズに的確に対応する「新たな旅のスタイル」を創造し、発信し続けるよう、町民及び関係団体・民間企業の皆様と共に、取り組んでまいりたいと思います。

結びに、この振興計画の策定に関わっていただきました、すべての方々に深く感謝申し上げますとともに、この計画の実現に向けて、さらにご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年1月

高畠町長 寒河江 信

目 次

第 1 章 第 3 次計画策定にあたって

1. 計画策定の目的	1
2. 計画策定の趣旨	1
3. 計画策定の位置づけ	1
4. 計画策定の期間	1

第 2 章 現状と課題

1. 国内観光の現状と課題	
（1）少子高齢化、人口減少社会の到来	3
（2）観光需要の変化	3
（3）ICT 化の進展	3
2. 高畠町の現状と課題	
（1）高畠町の現状	3
（2）高畠町の課題	10

第 3 章 基本理念と基本方針

1. 基本理念	15
2. 基本方針	15

第 4 章 具体的施策

1. 着地型旅行商品の開発	17
（1）観光資源のブラッシュアップ	18
（2）観光消費機会の創出	19
（3）宿泊観光客の誘致	20
（4）町内交通の利便性の向上	21
2. 体験メニューの整備	21
（1）体験プログラムの創出	22
3. 有効な情報発信による知名度向上	23
（1）観光動向の収集	24
（2）情報発信の充実と強化	24
4. 広域連携の推進	25
（1）広域連携による誘客	26
5. 訪日外国人旅行者への受入環境の整備	26
（1）訪日外国人旅行者の受入環境の整備と誘致活動	27
6. 地域力連携	27
（1）観光関連産業との連携	28
（2）観光客満足度向上への町民観光学習と人材育成	28
（3）観光案内基盤施設の整備	29
（4）高畠町地域商社設立に向けての検討	30

第5章 計画の推進体制

1. 計画推進の役割	31
（1）町民の役割	31
（2）観光関連団体の役割	31
（3）観光事業者の役割	31
（4）行政の役割	31
2. 計画推進の体制	32
■ 第3次高畠町観光振興計画策定の経緯	33
■ 高畠町総合観光推進協議会 観光振興計画改訂策定委員会	34
■ 資料	36
・ 高畠町観光客数推移	36
・ たかはた未来創生人口ビジョン（別冊）	
・ たかはた未来創生総合戦略（別冊）	